

右一通由彦氏

白雲野三月三日

機算三之次

一 金下書格高門七格



機算三之次金下書門
本初之次員三

一 二 七 進 左

414
A4743
7

以 二 七 進
金下書格高門七格

為 機 算 三 之 次
白 雲 野



Handwritten red text on a small slip of paper at the top of the page.



辨事欲口周 辨事 為保トシ
スリク 此 延 程 在 延 律 口 律
一ニキ 達 出 一 方

機算ニ交金又右月
其初ニ交員ナリ

一 金下 七 拾 五 元 七 拾 五 元

白紙 拾 三 月 拾 五 元
機算ニ交

右一通 由 延 律 出

三年十一月八日

所廊下形至中一六ツツ表也
集至一凡六件

以氏重公物七拾陸但三件
至三月廿四日

有神三代

長安山拾七間

高升五間半外三序
高升七間

口氏金拾八部

三
谷重百七拾三部七拾五印

一、世の信貞は、
少死品あり、
下仕あり

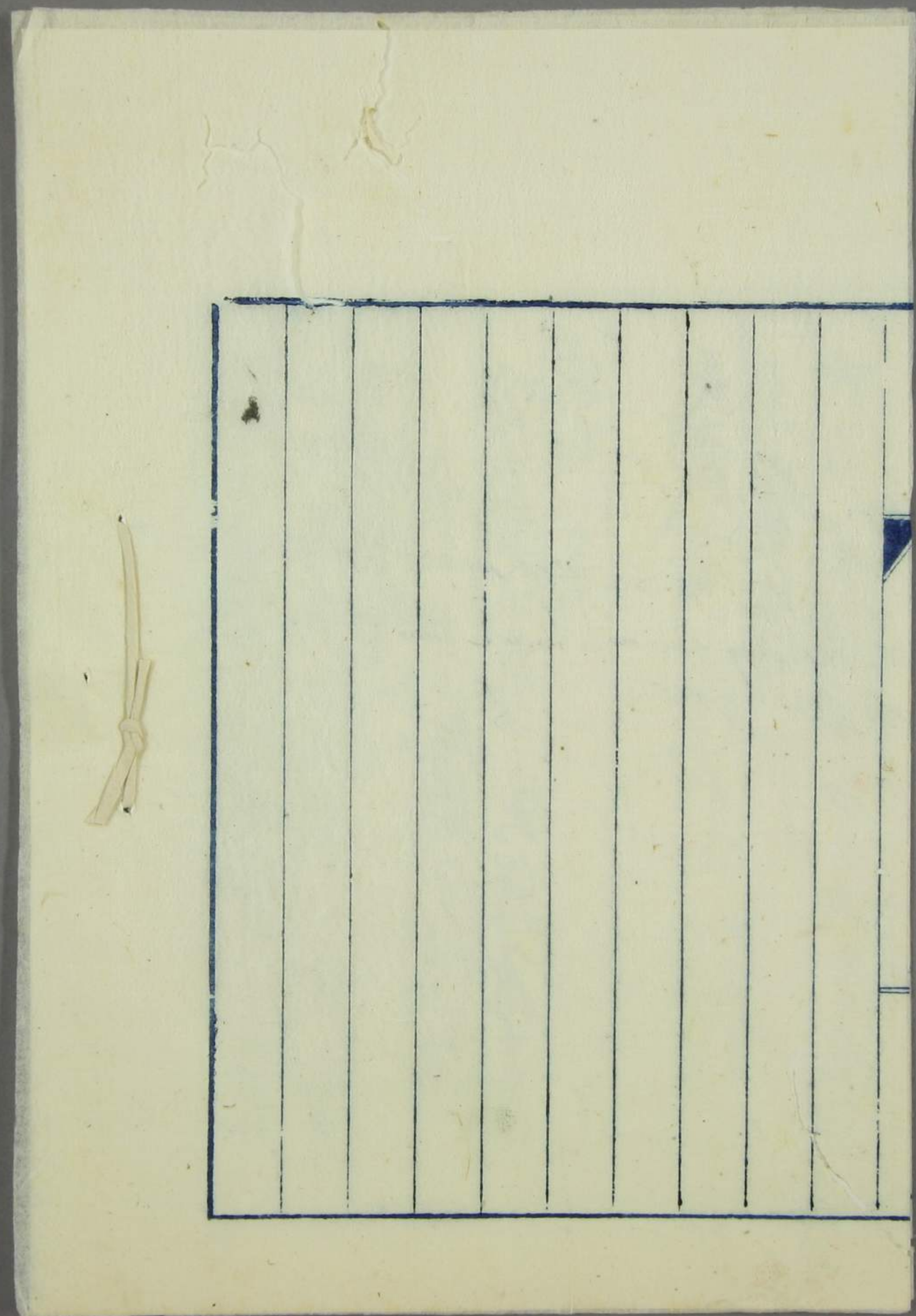
應國守月二書

明應三年十月
大澤源三郎印

大藏省

管帳

所収所中



本館總件へニキ運直ニ費用概算

一 金貳百圓

内

金百三十拾七圓五拾錢

正件分 金五拾五錢

金三十拾貳圓

正件分 金四拾錢

是、本館分根註冊板張字のワク新開館存の概
外蓋押、ホ、兩、叩キ、拾、五、錢、正、件、在、来、右、也、八、手
三、層、庫、之、内、石、也、貳、百、五、拾、件、毎、年、一、年
是、本、館、分、庫、下、柱、札、板、張、字、の、ワ、ク、新、開、館、存、の、概
或、者、本、館、分、庫、下、柱、札、板、張、字、の、ワ、ク、新、開、館、存、の、概



五指貳圓八指戈

五指
五指圓六指戈

是亦銘階外兩部下ハキ置形ハクク存也之極好
至直ニ共ハ八作

五

四

円貳指戈

長健五指

五八指四重

是亦吳代城下御下ハキ置形ハクク存也之極好

五

指三四五指戈

五五指四

五或指五戈

是亦漢方吳代城下御下ハキ置形ハクク存也之極好

ン

素庵川内屋敷の御殿に聞かす
書所 二ヶ瀬長しん

概算三ヶ瀬長約七丈
不詳是定角三ヶ

一金積貯三ヶ瀬長入申度

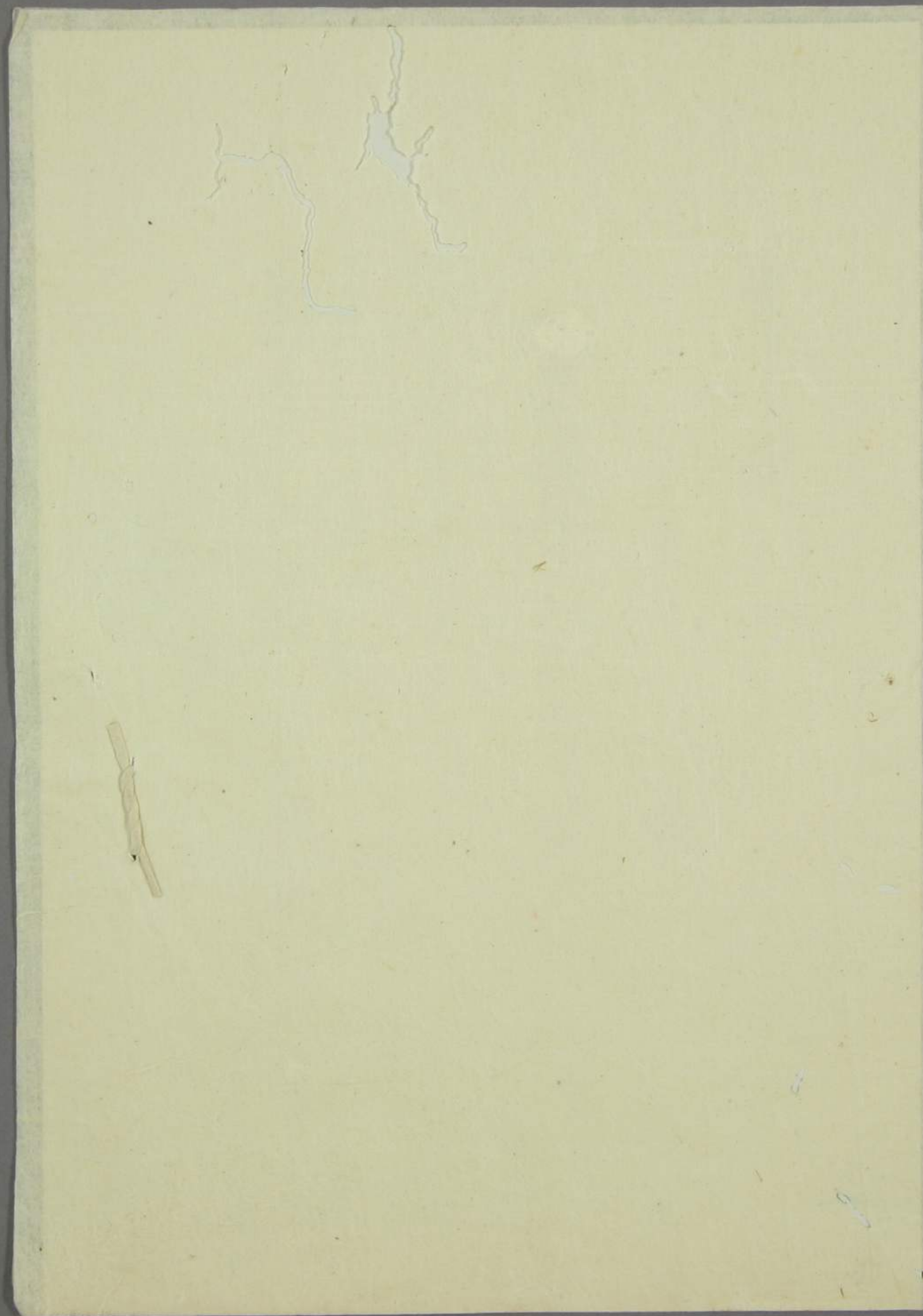
一金積貯入

概算三ヶ瀬

右ノ角、法被片也

三年十一月廿六日





形次印周ノ年以長部ペンキ
車一并忘入口在末一金本自案
とも其神元少如也

山氏重三如也
修三件
重三如也

表沙ノ吉和ペンキ
二分細旗大如多件
付付重三如也
他三件
重三如也



市庭入口のつとてわへんてききき

あつて二つ角のつとて

いれまじりあつて

若殿様ははなれおのころ心にてきき

あつて二つ角のつとて

いれまじりあつて

口

あつて二つ角

いれまじりあつて

所々教へておのころ心にてきき

あつて二つ角のつとて

いれまじりあつて

いれまじりあつて

あつて二つ角

いれまじりあつて

あつて二つ角のつとて

いれまじりあつて

あつて二つ角

何日可立自二卷

明正三年十月 大澤源寺

大藏者

菅原

所行所中



長門西廻り旧跡外周、都系内去關存
少外周、都系入押廻り、功多摩子、少の廻り
階子、其へて、寧息、之、加、調、々

一 五 六 拾 五 圓 七 錢 五 百 貫

總言、坪、百、四、拾、坪、五、合

五拾、同、拾、七、五、拾、坪、五、合、三、分、五、厘、土、三、行、府、五、拾、五、合

五、五、拾、四、五、拾、五、百、貫、貳、拾、五、合、貳、拾、五、合、五、拾、五、合

内譯



指五言

是乃各門柱在廊兩面共總件八二式之為原
中一乃

七
件

是乃四處之節口之屋車一乃

貳拾貳件

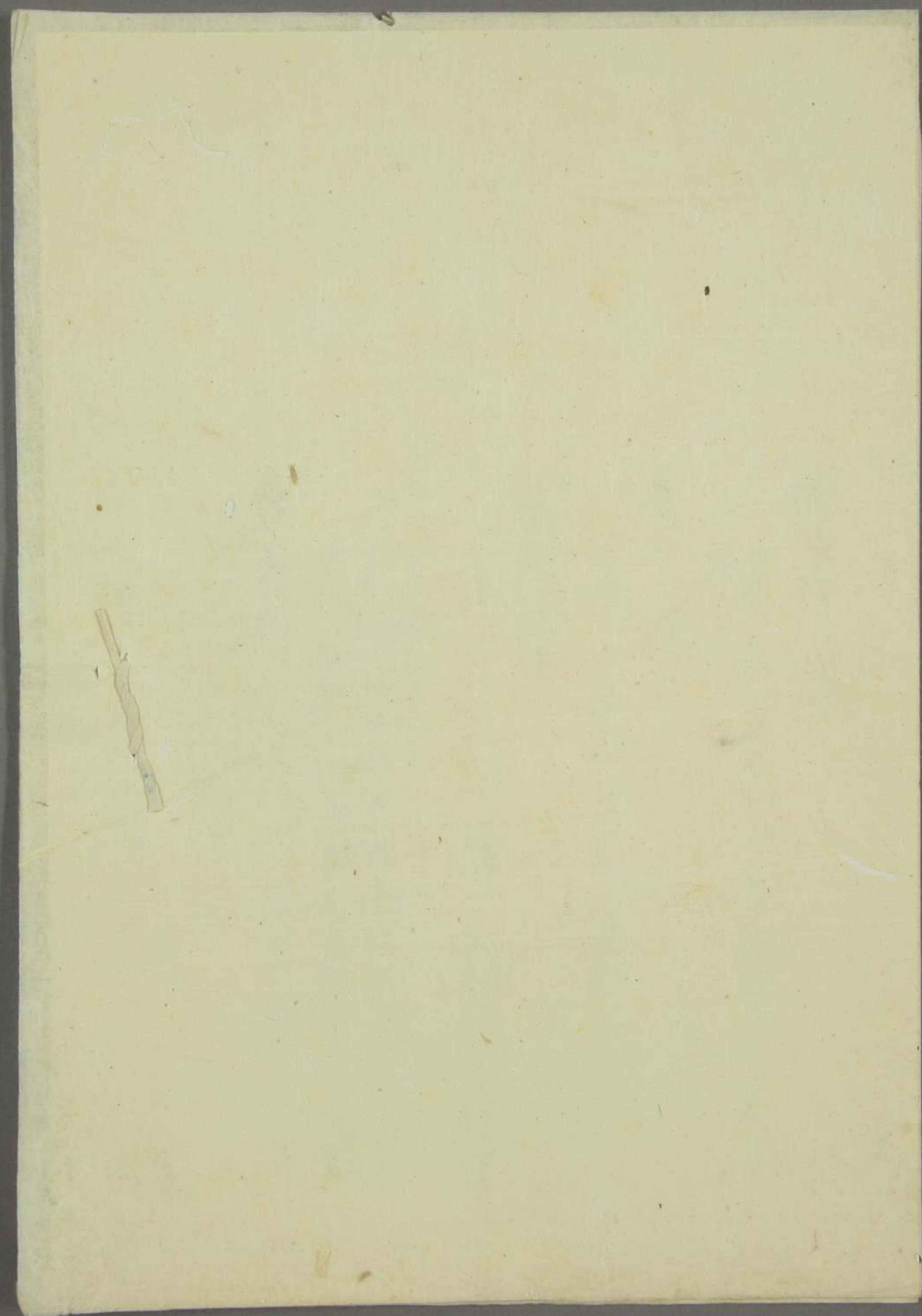
是乃旧館外周總件八二式之為原直三乃

八拾五件

是乃中次外周節口之屋車長口晁節
高石押親親子破子滑子面者屋車
節口之(ナリ)

指五件

是乃本館之内云用之廊下之屋車
是乃割親之根之漏函口階子之屋車
是乃節口之(ナリ)



約定書



一金の百は倍は倍は倍

今更には倍は倍は倍
今更には倍は倍は倍

右の如く申すに
前記の如く申すに
因るに依るに
今條の通り
一、東の月より
多、水運皆
一、皆、水運皆



翌日より翌日迄違物定めて一日付
後戻り金多ふ分一重額を毎日上納
可仕事)

但市人之納金、重支其時ハ保証人より速
上納可仕事)

一 仕様書おより圓面子控り粗造或ハ不陸固有
候り以多一其時ハ何ヶ度も出指込之通
取直了一市中一尤手出一より生ずる控費ハ
一切自弁 白論ニ申上る)

一 廢増又ハ控様書おより節ハ取初之仕様書
おより圓面ハ掛ヶ紙おより仕様書取一上下
掛掛少控所之上取、およりも御旨仕事
ハ貴重之増減ハ細書おより申上る旨是之

出控所おより下ハ其取之手續お不仕分ハ決而
入費重出下々不取願以事)

一 後戻り申市人逃亡其他取控お生一其取
保証人引更出申可仕事保証人亦取控
お生一其免相取以節ハ未控之他此
建築、付多申揚取又控込者多為ハ其保
お納免者代人重之儀ハ出来形ハ歩道之
重額出下々後一其上下申事)

一 皆出申物定日限申上りも仕事抄取以
一 其物定日限申上り申出申上り申見法
其之時申請取免控仰付くも其議
申上り取以物多其旨申上り取分納而

前條之通り此等計...
一 後戻り...
八分通り...
皆出来此見分濟之上...
与下...
但出来形分通り之儀...
此見極多...

若之條之確... 物定仕...
保証人...
若後... 連... 物定書...

新町區

銀田云町目... 番地

請負人

石澤源

系極區

新町七町目... 番地

名神

系極區

町目... 番地

保証人

池田

明治十一年十月

日保証人



大藏省用度課
管錢掛印中

